

移住先：仙北市

2010年2月 横浜市から移住
 ◆年齢/60代 ◆出身地/静岡県
 ◆現在の家族構成/夫婦2人

04 土屋 和久さん



◆移住前のご職業/建築設計事務所主宰
 ◆移住後のお仕事/個人事業主
 (イベント企画運営・野菜類生産販売・他)

「移居前と後での暮らしの変化で大きかった事は？」

出来なかったいろいろな事を今では自由に行っていることに改めて幸せを感じます。たとえば、自分の畑で栽培した野菜を頂く食事、誰にも気兼ねなく庭でバーベキューができること、夢にまで見た大型天との一緒に暮らし、そのまま飲める美味しい水道水、毎日でも近所の温泉に入れること、などなど。

ただ、都会暮らしに比べて、仕事も収入も少なくなつて経済的に厳しいことは否定できませんが、人間としてより自然な営みができてストレスのない生活が出来ている今の方が圧倒的に幸せ感を得られています。お金の蓄えを増やすことはできないけれど、毎日食事ができて家で寝泊まりできるくらいに生活ができれば満足だと思えるようになった心の変化が大きかったです。



現在の仕事や活動など取り組んでいる事は？
「運命的な出来事が自分に合った仕事へ導く」

2010年2月に移住してからちょうど1年を過ぎた頃、あの東北大震災という、あまりにショックな出来事に遭遇しました。私の地元である田沢湖周辺の宿泊施設でも宿泊客の激減により経営危機に陥り、地域全体の元気がなくなっていました。家庭菜園をしながらのんびり田舎暮らしをしようと思っていた私にとって、この大震災が今後の移住人生をガラッと変える転機となりました。

震災があった年の夏を過ぎた頃に、私は地元で元氣を取り戻そうと奮起し、湖・山・温泉の地元田沢湖の観光資源をモチーフとしたご当地キャラクターの「オモテナシ3兄弟」をプロデュースし、イベント企画運営や各地のお祭りなどに参加し観光PR等を行う事業活動を始めました。当初の1年半ほどは補助金事業として活動させて頂き、その後は個人事業として活動を続け、気がつけば数年間があったという間に過ぎていきました。そして今では「オモテナシ3兄弟のパバさん」などという肩書で呼ばれ、イベントに出演したり、地元のお祭りのステージ企画や司会をしたりと、楽しく活動させてもらっています。加えて、当初の活動時から、「ミニミニFM局」「橋台エフエム」でのパーソナリティも務め、今でも月2回ほどラジオでお喋りさせて頂いております。

そしてもう一つ、毎年のライフワークになっている仕事があります。5年ほど前から私の住む集落の特産物である伝統野菜の「田沢ながいも」の生産販売にも取り組んでいます。生産できる土壌が田沢地域の一部エリアに

「窮屈で苦しい生活からの解放」

移住して9年近く経つた今になって思えば、首都圏での暮らしや仕事は、ひと言では語りつくせない辛い思いの方が圧倒的に多かった気がします。秋田の閑静な田舎に移住した後は、あの頃の窮屈なストレスいっぱいの生活から解放され、のびのびとストレスのない毎日が送れているおかげで、今は心身共に健康になりました。雪にはまったく縁のない地域で人生を過ごしてきた私にとって、雪国での生活は初めての事ばかりで戸惑いでしたが、3年ほど過ぎたあたりから、なんとか雪にも慣れ除雪を楽しめるようになりました。そして何よりも、一年中を通して今まで経験したことのない四季の変化の大きさが、毎月・毎週・毎日でも周囲の環境の変化に刺激を受けられる暮らしを楽しんでいます。

限定され生産化ができないため、ほとんど市場に出回ることはなく、入手が困難な希少価値の高い伝統野菜です。しかも年々生産者も少なくなってきた生産量も減っていることもあり、なんとか絶やさないように、多くの方にも食べて頂けるように私も長いも畑を借りて、地元農家の方に教えて頂きながら生産を始めました。そして今では、地元の宿泊施設や飲食店、直売所や秋田市内の市場からも予約を頂き出荷できるまでになりました。収穫時期には収穫体験も企画実施したり、秋田の伝統野菜の良さを知ってもらえるように、これからは田沢ながいもの生産や伝承活動を続けていこうと思っております。

出身地ではない地域に移住して住み続けているには、地元の方々と交流し移住者相互の交流が大きな支えになることを実感したことから、2017年2月に「仙北移住者の会」を設立し、年に数回集まって昼食会を兼ねた懇親会や交流イベント等を行ってまいります。

今後は、移住者の会を通じて地元の方々と移住者の方々とネットワークを広げて、秋田への移住を決めかねて悩んでいる方や秋田に移住して間もない方などのための相談窓口になったり、仕事や個人事業への支援力になり、定住成功への鍵となるように活動して行きたいと思っております。

- ご本人に聞きました
- ①移住後の暮らしの満足度は？
 ・仕事面………少し不満
 ・人付き合い面………大満足
 ・住まい面………やや満足
 ・生活面………大満足
 ・経済面………少し不満
 ・総合的に………大満足
 - ②移住後の暮らしの生活費の中で、負担に感じる出費は？
 ・水道光熱費(灯油代)
 ・保険料や租税
 ・車代や移動交通費
 - ③生活費の支出割合は？
 ・食費や日用雑貨………20%
 ・水道光熱費………20%
 ・保険料や租税………20%
 ・車など移動交通費………30%
 ・趣味や活動交際費………5%
 ・家賃等の賃料………5%
 ・その他………0%

イベント企画運営
 & 田沢ながいも生産
A&K工房



FM橋台(79.6Mhz)のラジオ番組「あきたおもへどトーク」の移住者ネタランキング

毎月最終月曜日AM9:00から生放送で毎回紹介している「秋田県に移住して感じた、あんなこと、こんなこと〜ベスト5」今まで3年以上放送したものの中から2つ程をご紹介します。(これはあくまでも雪国暮らし初めてのパーソナリティの土屋個人が独断で感じたことです。)

雪に不慣れな移住者への雪国生活の心構えベスト5

- ⑤冬には車のタイヤを冬用に交換する
- ④積雪対策用の必需品を揃える・戸建てには除雪機
- ③水道が凍るので、水抜きや水落としが必要
- ②屋根の雪下ろしの必要性和危険性
- ①家の中でも流しの水や窓の結露が凍る

移住して変わっているな〜と感じたことベスト5

- ⑤信号機が縦に並んでいる
- ④変わった方言の難解な秋田弁
- ③床屋と美容院が異様に多いこと
- ②道路沿いでアイスを販売している(パバハラ)
- ①テレビCMに学校の修学旅行の安否情報が流れる

FM橋台ラジオパーソナリティ 土屋和久

- 毎月最終または第一月曜日AM9:00からと
- 毎月中旬の木曜日PM13:00からの2回土屋が担当

リクエスト曲などメッセージをFAXで番組宛又は土屋宛にお送りください。FAX:018-881-3091
 電波が入らなくてもインターネットでパソコンやスマホからでも聴けます。



仙北市移住者の会ホームページ
<https://senbokujiyusha.akjob.jp/>

